

《衛生関係》

坂戸、鶴ヶ島水道企業団負担金

内 容	子ども手当（地方特例交付金）相当分の負担金
-----	-----------------------

健康づくり推進事業

あはは！つるかめプロジェクトの推進

事業名	延日数	会場	概要
あはは！つるかめプロジェクト講演会	1	南公民館	笑い与健康 ～糖尿病予防は、ここが肝心～ 講師 筑波大学大学院教授 林啓子氏 参加人数 67人
ラジオ体操普及啓発	3	新町小学校 海洋センター 鶴ヶ島南近隣公園	元気にラジオ体操教室！ 講師 ラジオ体操指導者 青山敏彦氏 NHK テレビ・ラジオ体操指導者 多胡肇氏 NHK テレビ・ラジオ体操アシスタント 金子梨沙氏 参加延人数 449人 簡易保険加入者協会のモデル地域支援事業として講師の派遣により実施 主催 市、教育委員会、ラジオ体操連絡会 協力 体育指導委員連絡協議会
ウォーキング普及啓発	1	保健センター 農業交流センター	菜の花ウォーク 2010 の開催 内容 スタート：保健センター ゴール：農業交流センター コース：3 km、5 km 参加者数 235人
鶴の舞体力測定	6	女性センター 海洋センター 西公民館	健康体力づくり教室 1 健康づくり運動と体力測定 講話と実技（健康運動、体力測定） 2 健康ミニ講座と体力測定の結果 講話（食事と栄養）、結果の見方、健康づくりのポイント、実技（健康運動）、まとめ 延べ参加人数 68人 県民健康福祉村の支援事業として実施
健康・食育フェア （産業まつりでの出店）	1	運動公園	健康と食育に関する普及啓発 ・健康づくり：健康測定、健康パネル展示、健康リーフレット配布等 ・食育：朝ごはんの啓発、石臼挽き体験（米、大豆）、食事バランスガイドの普及等 参加人数 450人 協力 食生活改善推進員、ラジオ体操連絡会、いっしょに笑いたい会

食育推進事業

それいけ！キッチン（食育）の推進

事業名	延日数	会場	概要
食育の推進	2	保健センター	野菜教室の開催 プランターで野菜づくり教室 講師 鶴ヶ島市ひまわり会 参加人数 29人
	1	保健センター	食育ボランティア育成講座の開催 食育に関わるボランティアに研修機会を提供し活動の推進を図る。 内容 地域食の継承について、調理実習 講師 毛須英子氏 受講者 21人
	1	西公民館	食育推進講演会の開催 内容 講演、パネル展示、手洗体験 「鶴ヶ島市食育推進計画策定に期待すること」 講師 女子栄養大学教授 田中久子氏 「食のいとなみがからだをつくるところをつくる」 講師 「食べもの文化」編集長 安藤節子氏 受講者 90人 こども支援課と共催
	4	保健センター	食生活改善推進員養成講座の開催 望ましい食生活の普及・実践や食育ボランティア活動をすすめている「食生活改善推進員」を養成する。 内容 講義、実習 講師 職員 受講者 8人 延べ参加人数 29人
食生活改善普及	7	市役所外 4会場	食生活改善普及委託 食生活の展示・試食会 1回 市役所ロビー 参加人数 100人 地区伝達講習会 6回 保健センター、大橋公民館、西公民館、 東公民館 延べ参加人数 118人
鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画策定			健康づくり計画見直し及び食育推進計画策定作業 「健康づくり計画見直し及び食育推進計画策定のための市民懇談会」の開催 8回 庁内推進会議の開催 2回 計画策定に関するアドバイザー 女子栄養大学教授 田中久子氏

地域医療体制整備事業

広域救急医療体制整備負担金

埼玉県第二次救急医療体制に基づき、坂戸・飯能地区の住民の二次救急医療体制を確保するための病院運営及び病院設備整備に要する経費負担

病院群輪番制病院運営費分 5,478,936円

自動体外式除細動器整備事業

公共施設へのAED設置

事業内容

公共施設を利用する市民の初期救急体制確保の為、自動体外式除細動器(AED)の整備を図る。

平成20年度 3台導入

(設置場所)

鶴ヶ島保育所・鶴ヶ島東部保育所・富士見保育所

平成19年度 8台導入

(設置場所)

東公民館・西公民館・南公民館・北公民館・富士見公民館・大橋公民館

中央図書館・市民スポーツ課(貸出用)

平成18年度 17台導入

(設置場所)

庁舎・保健センター・運動公園・老人福祉センター

鶴ヶ島第一小学校・鶴ヶ島第二小学校・栄小学校・藤小学校・杉下小学校

長久保小学校・新町小学校・南小学校

鶴ヶ島中学校・藤中学校・富士見中学校・西中学校・南中学校

平成22年度にふれあいセンター分を運動公園に配置転換

成人保健事業

成人保健予防に関する健康相談、健康教育、訪問指導等

(1) 健康相談

区分	成人健康相談
回数(件数)	36回
会場	市役所、公民館
延人数	203人

(2) 健康教育

区分	健康教育
回数(件数)	12回
会場	保健センター、公民館
延人数	179人

(3) 訪問指導

区分	保健師	管理栄養士	歯科衛生士
訪問指導延人数	3人	2人	1人

特定保健指導対象者を含む

機能訓練（４０歳～６５歳未満）

未執行
医療におけるリハビリテーション及び要介護者に該当しない人が対象であり、制度利用を希望する人がいなかったため

成人歯科保健

区 分	会 場	実施回数	受診者数
歯周疾患検診（３０歳以上）	保健センター	７回	１７３人
在宅訪問歯科健康診査			０人

成人健康診査事業

対象者数は平成２２年度地域保健・健康増進事業報告で報告した人数である。

ただし、肝炎ウイルス検診における対象者数は、平成２２年度健康増進事業県補助金交付申請に基づく人数である。

（１）健康診査

区 分	個別	
	４０歳以上生活保護受給者等	
対 象 者	３７４人	
受 診 者	７人	
受 診 率	１．９％	
結 果	異常認めず	１人
	要指導	１人
	要医療	５人

（２）がん検診

区 分	胃がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診	大腸がん検診
	４０歳以上	２０歳以上 前年度市の子宮頸がん検診を受診していない女性	４０歳以上 前年度市の乳がん検診を受診していない女性	４０歳以上
対象者数	２１，４６０人	２２，１８５人	１５，０３１人	２４，４９９人
受 診 者	１，５２８人	１，９０９人	１，４６２人	４，８８９人
受 診 率	７．１％	１３．８％	１９．７％	２０．０％
要精検者	１０８人	３４人	１５１人	４４２人

子宮頸がん検診、乳がん検診は、国の指針に基づき２年に１回の受診である。受診率は前年度の受診者数と本年度の受診者数を合算して算出しているため、受診率＝受診者数÷対象者数×１００と一致しない。

子宮頸がん検診の受診者数は、女性特有のがん検診推進事業における受診者数及び妊婦健康診査による受診者数も含む。

乳がん検診の受診者数は、女性特有のがん検診推進事業における受診者数も含む。

(3) 肺がん検診(40歳以上、但し65歳以上は結核・肺がん検診として実施)

区 分	人 数
対象者数	23,894人
受診者数	1,854人
受診率	7.8%
要精検者	2人

(4) 骨粗しょう症検診

区 分	対象者数	受診者	受診率	要指導者	要医療者
40歳以上女性	18,740人	1,028人	5.5%	255人	148人

(5) 肝炎ウイルス検診(C型肝炎ウイルス+B型肝炎ウイルス)(40歳以上)

区 分	個別検診
検診受診対象者	40歳以上の人で過去に受診したことがない人
対象者数	1,088人
C型肝炎ウイルス受診者数	198人
受診率	18.2%
C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い者	3人
B型肝炎ウイルス受診者数	198人
受診率	18.2%
H Bs 抗原検査陽性	2人

感染症予防対策事業

感染症予防対策支援事業

(1) 肺炎球菌ワクチン接種費助成

区 分	交付者数
70歳以上の方	374人

(2) 新型インフルエンザワクチン接種費助成

区 分	交付者数
市民税非課税もしくは免除されている方及び生活保護を受けている方	415人

(3) 子宮頸がん等ワクチン接種事業

区 分	接種者数
子宮頸がん予防ワクチン	78人
ヒブワクチン	215人
小児用肺炎球菌ワクチン	290人

予防接種実施事業

区 分	BCG
乳幼児	604人

(注) BCGには埼玉医科大学病院における接種を5件含む

区 分	ポリオ	三種混合 (百日せきジフテリア破傷風)	二種混合 (ジフテリア・破傷風)		
乳幼児	1,174人 (内 埼玉県立小児医療センター 10件)	2,461人	0人		
小学生	-	-	519人		
区 分	麻しん	風しん	麻しん・風しん (混合)	日本脳炎	日本脳炎 経過措置分(9歳から13歳未満)
乳幼児	0人	1人	1,225人	2,457人	-
小学生	-	-	-	125人	185人
中学生・高校生	0人	1人	1,026人	-	-

平成22年8月より接種勧奨が差し止められている間に接種の機会を逃した方への特例措置が設けられた。

区 分	インフルエンザ
65歳以上	5,781人
60歳以上65歳未満で心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人	15人

感染症対策事業費補助金(繰越明許費分)

新型インフルエンザワクチン接種費助成

区 分	交付者数
市民税非課税もしくは免除されている方及び生活保護を受けている方	12人

母子保健事業

母子保健の推進

(1) 健康相談

区 分	乳幼児健康相談	親子相談	電話相談
回数(件数)	15回(うち保育所9回)	24回	769件
会 場	富士見公民館、東公民館、保健センター、各保育所	保健センター	
延人数	513人	125人	769人

(2) 母子健康手帳の交付・妊婦一般健康診査(委託料)

区 分	母子健康手帳の交付	妊婦一般健康診査	母子感染防止事業
実人数	584人 (内訳) 新規 574人 再交付 10人	受診票による健診 1回目 584人 4回目 524人 8回目 496人 10回目 500人 12回目 488人 超音波検査 1,850人 (注)超音波検査については、平成22年度より4回/1人となった。	HBs抗原検査 584人 HCV抗体検査 581人 ヒト免疫不全 ウイルス抗体検査 584人 子宮頸がん検診 571人 B群溶血性連鎖球菌検査 508人
受診票による健診 5回 助成券による健診 9回		助成券による健診 延人数 3,913人 2回目、3回目、5回目 6回目、7回目、 9回目、11回目、13回目、 14回目	(注) B群溶血性連鎖球菌検査については、平成22年度より追加された。

(3) 訪問指導

区 分	第1子訪問事業 (母子保健推進員)	乳幼児健康診査 未受診者訪問 (母子訪問指導員)	訪問指導 (保健師)
対象者	産婦 262人 乳児 262人	39人	要訪問指導者
延人数	産婦 223人 乳児 223人	28人	751人
訪問率	産婦 85.1% 乳児 85.1%	71.8%	-

(4) 育児教室

区 分	両親学級 (ゆりかご教室)	離乳食講習会 (もぐもぐ教室)	2歳児歯科 健康診査	おやつとむし歯 予防
回数(件数)	16回	12回	6回	6回
会 場	保 健 セ ン タ ー			
延人数	238人	374人	314人 (157組)	305人

区 分	子育て講習会	多胎児の子育て教室 (ふたごちゃん・みつごちゃん ママ&パパの集い)		
回数(件数)	1回	12回		
会 場	大橋児童館	保健センター		
延人数	26人	202人(43組)		

乳幼児の健康診査

区 分	4か月児 健康診査	1歳6か月児 健康診査	3歳児 健康診査	10か月児 健康相談
回 数	12回	12回	12回	12回
会 場	保 健 セ ン タ ー			
対 象 者	624人	626人	652人	611人
受 診 者	573人	577人	574人	531人
受 診 率	91.8%	92.2%	88.0%	86.9%
内 容	問診、身体計測、 内科診察、保健指 導、集団歯科保健 指導	問診、身体計測、内 科診察、歯科診察、 保健指導、栄養指 導、歯科保健指導、 子育て相談	問診、身体計測、内 科診察、歯科診察、 保健指導、栄養指 導、歯科保健指導、 子育て相談、尿検査	身体計測、保健相 談、歯科相談、希 望者には栄養相 談、母乳相談
子育て相談数	-	21人	44人	-

環境衛生事業

環境衛生対策

(1) 地域環境美化推進員

事業目的	身近な環境を保全し、豊かで住み良い生活環境を実現するため、市民と行政が連携し、より効率的で地域に根ざした活動を展開するため地域環境美化推進員制度により、きれいなまちづくりの輪を広げていくことを目的とする。
事業内容	・地域環境美化推進員 委嘱者数 119人(平成23年3月31日現在)

(2) 衛生害虫の防疫対策

事業内容	害虫駆除剤の散布(ユスリカ対策) ・職員による随時散布 14日[20か所(累計)]
------	----------------------------------------------

犬の登録等事務

・登録及び狂犬病予防注射接種状況等

(平成23年3月31日現在)

登録頭数(うち22年度新規登録数)	注射済頭数	相談件数	野犬等捕獲数
3,343頭(238頭)	2,528頭	5件	0頭

環境問題啓発事業

3R推進事業補助金

交付団体	エコ鶴市民の会
------	---------

環境基本計画の推進

(1) 地球温暖化防止の普及啓発

事業目的	市民・事業者・市が協働で環境基本計画を推進するため、各種取組を行う。
事業内容	<p>・「緑のカーテン」の普及推進</p> <p>内容 地球温暖化防止の取り組みのひとつとして、庁舎を始めとする公共施設(市内公的施設含む・31施設)に「緑のカーテン」を設置するほか、市民や事業所の積極的な参加を促しながら、普及推進を図った。</p>

(2) 環境月間啓発展示

実施期日	平成22年6月9日(水)~23日(水)
実施場所	市役所ロビー
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生・中学生による環境問題レポートの展示 ・市内環境団体の活動紹介等の展示 ・市内企業の取組紹介等の展示 ・太陽光発電システムの普及促進に関する展示 ・緑のカーテン取組紹介 ・ごみ、資源の分別例の展示 ・廃食用油を利用した石けんづくりに関する展示 など

(3) レジ袋削減キャンペーン

実施期日	平成22年10月1日(金)~31日(日)
実施場所	市役所ロビー 市内協賛事業所(小売店)
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋の削減とあわせて、ごみ減量化やマイバック、風呂敷などの利用促進の啓発展示 ・協賛事業所(小売店)におけるポスターやのぼり旗の設置 ・庁内放送により職員へ周知

(4) 地球温暖化防止月間啓発展示

実施期日	平成22年12月6日(月)~21日(火)
実施場所	市役所ロビー
概要	地球温暖化防止に向けた取り組みに関する展示

浄化槽設置整備事業補助金

設置届出、補助金交付状況

人 槽	設置届件数	補助金交付件数	備 考
5人槽	97	0	
6人槽	0	0	
7人槽	21	2	
8人槽	0	0	
9人槽	2	0	
10人槽	4	0	
小 計	124	2	
11～20人槽	3	/	
21～50人槽	9		
51～100人槽	1		
101～200人槽	0		
201人槽以上	0		
小 計	13		
合 計	137	2	

公害対策経費

(1) 公害相談等受付件数

公 害 関 係		一 般	
相 談 内 容	件 数	相 談 内 容	件 数
大 気 汚 染	31	一 般 廃 棄 物	1
水 質 汚 濁	4	産 業 廃 棄 物	0
土 壌 汚 染	0	排 水 問 題	0
騒 音	14	害 虫	29
振 動	1	雑 草	59
地 盤 沈 下	0	死 亡 獣 畜	0
悪 臭	6	そ の 他	2
合 計	56	合 計	91

一般相談件数には、あき地等の環境保全に関する指導件数を含む。

(2) あき地等の環境保全に関する指導件数

内 容	件 数	備 考
雑草による害虫発生	1	
雑草による火災の危険	2	
その他（雑草繁茂、枝葉等）	56	
合 計	59	

(3) 噴霧器・蜂用防護服貸出し件数

内 容	件 数	備 考
噴 霧 器	2	
蜂 用 防 護 服	48	
合 計	50	

(4) 道路交通騒音調査

調 査 場 所	調査地点数	調査期間	備 考
関越自動車道	2地点	各24時間	調査地点は、個人の住宅敷地内 調査日は、H22.11.24~11.25
首都圏中央連絡自動車道	1地点		
市内主要道路	6地点		

(5) 道路交通振動調査

調 査 場 所	調査地点数	調査期間	備 考
市道547-2号線	1地点	各24時間	調査地点は、個人の住宅敷地内 調査日は、H22.11.24~11.25
国道407号線	1地点		

(6) 大気汚染調査

調 査 項 目	調 査 方 法	暴露期間	調査地点数	調査回数(測定月)
窒素酸化物 (NOx)	簡易測定(フィルタ・パージ法)	72時間	15地点	2回 (9月、12月)
	自動測定	48時間	1地点	

(7) 水質汚濁調査

調 査 項 目	調 査 方 法	調査地点数	調査回数(測定月)
水素イオン濃度 (pH)外8項目	ガラス電極法等	7地点	2回(7月、11月)
底生生物	サーバーネット法	2地点	2回(7月、11月)

(8) 地下水水質調査

調 査 項 目	調 査 方 法	調査地点数	調査回数(測定月)
カドミウム 外25項目	電気加熱原子吸光法等	3地点	1回(10月)

(9) ダイオキシン類環境調査

調 査 項 目	調査地点数	調査回数	調 査 日
一般大気	1地点	1回	平成23年1月13日~20日
一般土壌	1地点	1回	平成23年1月13日

塵芥処理事業

リサイクル石けんづくり

事業目的	ごみ減量化・リサイクルに対する市民意識の啓発を図るため、廃食用油から作製したリサイクル液体石けんの配布等を行う。
事業内容	・リサイクル液体石けんを作製し、環境月間啓発展示期間などで配布した。

不法投棄物の処理

内 容	数 量	
処理困難物 運搬処分 (廃タイヤ・バイク・建築廃材等)	廃タイヤ	1 台 (2 tトラック)
	バイク・建築廃材等	1 台 (4 tダンプ)
特定家庭用機器 運搬処分	エアコン	0 台
	テレビ	7 1 台
	冷蔵庫	1 5 台
	洗濯機・乾燥機	9 台
消火器 運搬処分	3 5 本	
その他の不法投棄物 運搬処分	可燃物	1 1 . 7 t
	不燃物	4 . 7 t

きれいなまちづくり運動の実施 (市内一斉美化清掃運動)

期 日		参加団体			収 集 量		
		自治会	その他	合計	可燃ごみ	不燃ごみ	側溝汚泥
春期	平成 22 年 5 月 16 日	8 3	6	8 9	25.90 t	2.47 t	19.80 t
秋期	平成 22 年 10 月 17 日	8 2	5	8 7	23.25 t	1.66 t	16.34 t

集団資源回収事業

目 的	廃棄物の減量化を図るとともに、リサイクル運動を推進する。					
登録団体	3 2 団体					
報償金額	2 , 8 0 7 , 5 8 5 円					
	紙 類	布 類	生きびん	カレット	金属類	合 計
数 量	495,456kg	4,762kg	1,245 本 (747kg)	0kg	60,054kg	560,272kg+1,245 本 (561,019kg)
	88.31%	0.85%	0.13%	0%	10.71%	100%

「生きびん」については、1 本あたり 0 . 6 kg で計算

区域外設置下水道管理事業

川越市との協定に基づく下水道維持管理費負担金 (平成 2 3 年 3 月 3 1 日現在)

対 象 世 帯 数	富士見ハイツ	2 0 8 世帯
	川鶴団地	2 , 8 2 3 世帯